

2012年8月25日(土)

晴れ 26℃

Time

contents

7:15

Get up いよいよあと2日。今日は天気がいいようだ！ でもちょっと朝は冷えるかな！

いつものように駐車場へ集合
今日の予定を確認、そして朝食へ。



7:30

朝食



だんだん朝食の風景も様になってきた。パンもおいしく、朝のカフェも凄く美味しい。

朝食後、そろそろ部屋の片づけやスーツケースの整理をやっていかないと明日大変なことになるよ！ツと脅かし、選手たちもちょっとお土産等の整理をしていました。

何もせず寝ている選手たち。



整理している選手たち。



・・・完璧な中国。

9:20

ホテルを出発。いつものようにバスでVfB03Hildenへ

俺はVfB03Hildenの近くの広場でフリーマーケットを開いていた。また八百屋さんやお肉屋さんも出店。ちょっとしたショッピングエリアだ。



10:15 VfB03Hildenのロッカールームの到着。 中に入るとそこにはユニフォームが洗濯され綺麗に箱詰めされて置いてあった。

感謝



俺と一緒に車で一足先に来た選手が、ユニフォームを整理し名前ごとにベンチに置いた。

10:30



全員がロッカールームに入り、今遠征の最後の試合の前に、これまでのこと、そして今日のゲームへの心構え、闘い方をミーティングし、着替えをし、グラウンドに出た。

今日の相手はJurのチーム8月21日にやって1-3で負けている。今日はそのリベンジ、どこまでできるか！戦いだ！！



ピッチに出てから選手たちだけでミーティング。選手たちも今日の試合の意義をわかっているし、ドイツでの最後の試合を勝ちたいと思っているのは俺だけではないはずだ。

試合前のセレモニー



選手たちは相当気合が入っている。なんか面白いゲームになりそうだ。

この1週間の成長したたくましさ
が何か伝わってくる・・・。

頑張れU-15の選手たち！！



11:00

ゲームキックオフ

fortuna98 Japan vs VfB03Hilden U-17

【GOAL】 9min 穂坂
12min Own
67min 田中

3 $\left(\begin{array}{cc} 2 & - & 3 \\ 1 & - & 2 \end{array} \right)$ 5

【GOAL】 3min
22min
26min
42min
70min

【1st】

内田 穂坂 小俣 天野

原 橋本

瑠夏 大森 中国 一貴

深沢

【2nd】

瑠夏 向山 田中 太一

小林 石橋

志村 元春 智紘 青林

斉藤



【戦評】

Jurのチームはいつも日本からくるfの選手たちをリスペクトしてくれ、どんな状態でも本気でやってくれる。ドイツはこれから新しいシーズンが始まるので今は準備期間・・・ということは新しいメンバーの力量等も考えながら試行錯誤する時期と言える。だが我々は高円宮杯を控え、そろそろ仕上げに入っていかなければならない・・・そんな温度差があるにもかかわらず、全力でfの一つ年齢が下のチーム相手に必死に闘ってくれる。だから俺はこのJurのチームとの試合を大事にしている。ドイツ人と真剣に戦えるなんて滅多にないこと・・・。

さて、試合は、開始早々3分、CKから失点。この時間帯は我々のチームの課題である。ベンチワークもしっかりしていかなければならない・・・(反省)。以降、お互いにチャンスとピンチの連続で非常に緊張感がある好ゲームと言える。観ている人たちは面白いんじゃないかと思うが、やっている選手たち、ベンチにいる我々はそうもいかない。でもこんなゲームが常にできれば・・・と思っている俺にとってはありがたいゲームである。Fの選手たちもこの1週間で様々な経験をし、遅くなっている。考えてしっかりした判断ができるようになってきている。そんな変化がピッチ上でも現れている。球際の争い、空中戦、守備の連係、攻撃時の動き・・・みんなよく闘っている。前半は2-3、後半1-2でリベンジはならなかったが、JurもBenderも認めてくれるほど良く戦ったと思う。負けていて褒めるのは俺は嫌だけど、選手たちの成長を思うと目頭が熱くなる。



一緒に写っているのがMr. Hermut Jurです。
俺のドイツの師匠であり友人でもある。本当にこれまでのドイツ遠征の成功は、彼抜きでは語れない・・・本当に大切な人だ。日本に来るように誘っているのだが、休暇はトルコに行くんだと言ってなかなか返事をもらえない・・・どうやら飛行機が苦手らしい・・・という情報を耳にした。来年また口説いてみよう。

13:00

試合が終わってからの・・・今日は忙しかった。今日はみんなが楽しみにしているブンデスリーグの観戦だ。
とっととシャワーを浴び、ヒルデン中央駅へ急いだ。



急げー！



13:21

ヒルデン中央駅を電車で出発



15:00

メンヘン・グラッドバッハ中央駅に到着



グラッドバッハの駅からスタジアムまではシャトルバスが出ている。すごい混みようだったけど何とか一台のバスに乗れた。

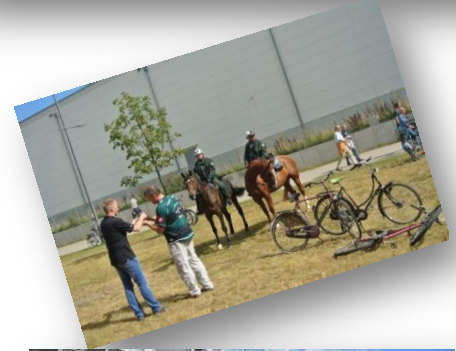
シャトルバスを降りると、あとはスタジアムまで人の流れに沿って行けばいい・・・。

15:20

スタジアムへ



観たかったブンデスリーグ、
見せたかったブンデスリーグ、
日本のJリーグとは、
小瀬陸上競技場とは、 ちょっと違う
ドイツのリーグの、
ドイツのスタジアムの雰囲気をみんな、
満喫して！！！！



いよいよスタジアムの中へ、
もうオープニングセレモニー、ピッチではW-UPを
やっていてすでにボルテージは200%・・・すご
い！！ みんなこの雰囲気にのまれてこんな感じ



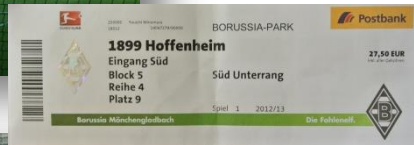
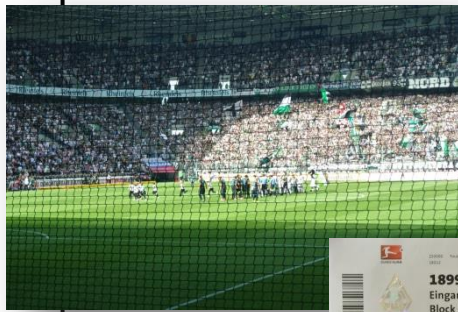
あの、冷静な優太も元春もテンション300%上昇！！



遅い昼食



15:45 ブンデスリーグ1部 Borussia Moenchengladbach vs 1899 Hoffenheim の試合がキックオフ



いよいよキックオフの時間。
セレモニー一つとってもやはり鳥肌が立つ。

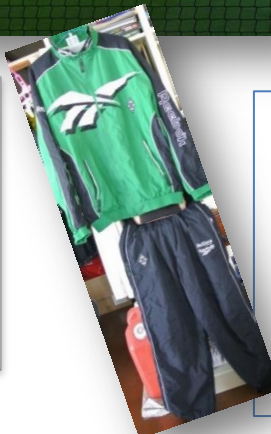
キックオフの笛と同時にスタンドは大喝采。



ホームチームのグラッドバッハが得点！
スタジアム全体が一体となって得点を喜んだ
観客は50,146人 日本とは規模が違う！



グラッドバッハは勝利し、スタンドに向かってサポーターに拍手、サポーターもそれに答える・・・。



Borussia Moenchengladbach は私が留学時代にお世話になったクラブだ。 1997年～1998年のシーズンにユースのU-17のチームにつきCo-Trainer（コーチ）として選手たちに関わった。その頃支給されたジャージ・・・まだ大切にっています。

当時のチームは、ドイツ国内でも3本の指に入る実力を持ち、リーグ戦も地域リーグでは断トツ！ 選手たちもアフリカ、東ヨーロッパからスカウトされた選手もいて、すごくレベルが高かった。俺にとっては貴重な1年半だった。

18:00 試合終了後



ばらばらに人の流れに沿ってスタジアムから外に出て f の選手を呼び止めファンショップに行きたい要望をかなえるため、人の流れとは逆に移動することになり、一度人数確認のため集合。

大森に人数を数えさせたら一人足りない。

「誰かいらない人!?!」 「瑠夏は?!」 瑠夏がいないことに気づきみんなで探す。

携帯電話が鳴った。 瑠夏らしい。 「どこ?」

「.....」 どうやら人の流れに沿って歩いてシャトルバスの乗り場に向かっていているみたい。

全く逆側まで行ってしまっていた。 「出たところまで戻ってこい」

5分後、彼は息をぜいぜいさせて合流した。

18:20 ファンショップへ



またまた、ここで買いもの・・・まあ仕方ないですね。約1時間ほどここで光とじっと待ちました。

俺の欲しいものはこっちにあった。
クラブバス・・・どっちもカッコいい!!



19:30



20:40



メンヘングラッドバッハ中央駅から電車の乗り、ちょっと夕日を浴びたライン河を車窓から眺めながら、途中デュッセルドルフ駅で乗り換えヒルデンの駅までに着いた。そこから歩いて15分・・・いつものレストランへつきました。

20:45

レストラン到着

明日も来るけど夕食は今夜が最後です。



このレストランの雰囲気は最高でしたね。こんな楽しい食事が日本でも味わえるといいけど・・・なかなか外で食べるのは・・・無理かもね。蒸し暑いし・・・虫はよってくるし。



テーブルの上のローソクもまた雰囲気づくりに効果絶大です。
ロマンチックですね・・・。



22:00

食事後、いつものようにバスでホテルに向かう。
いつもの乗り降り場所



22:30

ホテル到着

最後の晚餐を終え、みんなテンションが上昇
踊る選手もいたっけ！？いたよね！

【shinのひとり言】

今回、ドイツ遠征に参加した24人、本当に良い経験をしました。ホテルがちょっと郊外で、バスでの移動でちょっと不便??だったかもしれないけど、それもまた良い体験だったように思います。そしてサッカーでも、F95のフォルツナダービー、試合終了後のカルチャーショックを受けた選手たち、あんなに泣き崩れた選手を観るのはドイツ遠征史上初めてだったかもしれません。日本で高円宮杯に負けて泣き崩れる選手たちは何度となく観てきましたけど・・・ドイツに来てこんな体験ができるとは思いませんでした。ドイツ人にも日本人の光景に驚いたことでしょう。ドイツ語に“Vorbei”という単語がある。意味は“過ぎたこと”。良く試合が終わって、どうだった?と聞くと、“schon vorbei”と返ってきます。ゲーム中が我がホームタウンチームを一生懸命応援し、終了すると、その毛化を受け止めて“さぁ一次のゲームだ”と切り替えようとしている。その時に良く使われている言葉です。実際F95との試合終了後もBenderとJurが選手たちに近づき、“Vorbei”と語りかけ、“いつまでもクヨクヨするな!” “次の試合にまた向かうぞ”と言っていた。“今終わった試合の結果をしっかり受け止め、そして大事なのは次の試合だぞ”とメッセージを伝えてくれているような気がした。“vorbei” 良い言葉だ。大切にしよう。

Hosaka Daichi 【保坂 大地】

今日は、最終試合の日です。
このドイツ遠征はとても短く感じました。そして、今まで経験した事のないような経験もとても多かったです。
試合では最後の試合ということと、一度負けてる相手ということもあってこちらのモチベーションは上がっていましたが、負けてしまいました。
ですが、とてもいい経験になりました。
その試合の後、ブンデスリーガの観戦に向かいました。向かってる途中の電車やバスの中でみんな疲れているのか、眠そうな人が多かったです。
そして、試合会場に到着しましたが、とても大きく、人もかなり多かったです。観客席に入ると、サポーターがとても多く、フェンクの時とは比べものにならないほどすごかったです。試合が始まるとサポーターたちの歓声の迫力がとてもすごかったです。やはり選手の一人一人が上手で力強くすごさを体感できました。そして、点が入るとサポーター達の歓声がすぐく地鳴りのようでした。途中で宇佐美も出場し、とてもいいプレーが観ることができてよかったです。ボルシアが勝ちましたが、大津がいなかったのは残念でした。帰る前に寄ったファンショップではとてもすごい列で中に入るのに時間がかかってしまいました。今日もいい経験をいっぱいできてよかったです。いよいよ明日にはドイツを出発するので悔いは無いようにしたいです。



Omata Syota 【小俣 翔太】

今日は、前に1回負けたチームと午前中試合をして、午後はボルシア対ウォッヘンの試合を見に行く。
最後の試合だから、チームのみんなが気合いが入り、とても良かった。だが、昨日の夜遅くに帰ってきたのが疲れていて、朝の集合で寝坊者続出！笑
たくさんいたのでビックリしました。
それから、バスで会場に行き試合をしました。結果は3対4でまた負けてしまいました。悔しかった。
そして、すぐにバスに乗り、ボルシアのホームのスタジアムに行きました。バスの中から、ボルシアファンがたくさんいて盛り上がっていました。日本と違ってスタジアムの外でみんなが盛り上がっていて、すごいなと思いました。
ボルシアの大津選手は出れず、宇佐美選手は途中から試合に出てきました。宇佐美選手はボールを取られず、ボールを取られないすごい選手だと思いました。結果2-1でボルシアが勝ちました。
今日、いろいろあって試合をしてドイツの強さを体感できたし、ボルシア戦の試合を見てパススピードなど、いろんな事を体感できてとてもいい一日になりました。日本でもこの体験をいかしていきたい！！

